地域計画

策定年月日	令和7年3月19日
更新年月日	()
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	廿日市市 (342131)
地域名 (地域内農業集落名)	玖島地区 (正之原、泉水、一丁田、影浦、日浦、大沢、吉末、下川上、上川上、下大町、下平谷、 上平谷、内野、上大町、檜原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	185.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	106.3 ha
② 田の面積	163.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	22.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・玖島地区は、正之原、泉水、檜原集落及び内野集落以外はほ場整備実施集落であり、概ねほ場条件が整備されている地区である。 ・ほ場整備実施集落では、中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金事業に継続して取り組まれてきており、吉末集落では、集落法人に位置づく(株)よっせえが設立されている。 ・また、旧佐伯町内を中心とした水稲の作業受託組織である(農)さいきが玖島地区に位置している。 ・更には、新規就農者の確保・育成対策として、平成25年から市と農業協同組合が連携して”新規農業経営者育成事業”を実施し、ほうれんをうを中心とした施設野菜の経営体育成に取り組んでいるが、当該事業による就農者の多くは玖島地区内で経営を行っており、規模拡大を志向する経営体もあるなど、これまでの様々な取組を通じて、農地の活用は概ね良好な地区である。 ・しかしながら、農業従事者の高齢化が進み、不在地主が増加してきており、農地の荒廃化の進展が懸念される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・水稲を主要作物としつつ、廿日市市の施設野菜の産地の維持・拡大を牽引する地区として、集落組織と連携しながら将来に継承できる農地の適正利用に務める。 ・そのため、水稲については生産に関わる農業者の確保・育成と生産の効率化、施設野菜等園芸作物については団地化を考慮した畑地化、畦畔を含めた農地の保全・管理については環境整備(草刈りなど)の効率化に対し支援を行う。 ・支援に当たっては、担い手の生産原価の低減のほか、集落活動の負担軽減に向け、スマート農業機械の導入に向けた実証検討など実施し、減農薬・減肥料・スマート農業にかかる生産技術の普及のほか、農地の保全管理作業の低減に努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・ほ場整備実施集落では、集落活動の継続と(農)さいきなど農作業受託組織の支援を得ながら、水稲の作付維持に努める。 ・施設園芸など園芸作物の生産推進では、地権者のほか集落組織と担い手の合意を基本に、団地化を考慮した畑地化の支援とあわせ、農地中間管理事業を活用して、農地の利用調整を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	10.0	%	将来の目標とする集積率
			14.8 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
集落単位での農地所有者の意向把握を進めながら、今後、目標設定に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
・集落活動の継続への支援を基本に、農地中間管理事業を活用して担い手への農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
・農地所有者と担い手と意向を基本に、集落組織の活動を考慮しながら、農地中間管理機構の協力を得て農地集積・集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
・地権者と担い手の合意に基づき、施設園芸用地の土地基盤を整える場合には、客土や暗渠の設置など畑地化に向けた支援を行う。 ・ほ場整備実施集落においては、集落活動を基本に、必要に応じて水路等の改修支援を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市・JA・佐伯商工会が連携し、農業経営の安定に努める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・水稲作業の効率化が期待できる基幹作業は、引き続き(農)さいきを中心に受委託を推進するとともに、水稲作業の担い手確保を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①猟友会員との連携を図り、捕獲強化に取り組むとともに、捕獲人材の確保・育成を進める。
 ②③⑦担い手の生産原価の低減のほか、集落活動の負担軽減に向け、スマート農業機械の導入に向けた実証検討など実施し、減農薬・減肥料・スマート農業にかかる生産技術の普及、農地の保全管理作業の負担低減に努める。
 ④集落合意を基本として、施設園芸用地を中心に、団地化にも考慮しながら、畑地化を支援する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和12年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 A	施設野菜	1.45 ha	ha	施設野菜	1.45 ha	ha	2	
2	認農 B	施設野菜	0.60 ha	ha	施設野菜	0.60 ha	ha	3	
3	認農 C	施設野菜	0.64 ha	ha	施設野菜	0.64 ha	ha	4	
4	到達 D	肉用牛	0.27 ha	ha	肉用牛	0.27 ha	ha	8	
5	認農 E	施設野菜	0.98 ha	ha	施設野菜	0.98 ha	ha	10	
6	認農 F	菌類	0.22 ha	ha	菌類	0.22 ha	ha	11	
7	認農 G	施設野菜	0.71 ha	ha	施設野菜	0.71 ha	ha	12	
8	認農 H	施設野菜	0.59 ha	ha	施設野菜	0.59 ha	ha	100	
9	認就 I	露地野菜	1.31 ha	ha	露地野菜	1.31 ha	ha	101	
10	認就 J	施設野菜	1.10 ha	ha	施設野菜	1.10 ha	ha	108	
11	到達 K	水稲	2.75 ha	22.14 ha	水稲	2.75 ha	22.14 ha	200	
12	利用者 L	施設野菜	0.46 ha	ha	施設野菜	0.46 ha	ha	201	
13	農協 M	研修農場	0.49 ha	ha	研修農場	0.49 ha	ha	202	
14	利用者 N	水稲	1.24 ha	ha	水稲	1.24 ha	ha	213	
15	利用者 O	露地野菜	0.18 ha	ha	露地野菜	0.18 ha	ha	215	
16	利用者 P	水稲	2.97 ha	ha	水稲	2.97 ha	ha	220	
17	利用者 Q	水稲	0.45 ha	ha	水稲	0.45 ha	ha	222	
18	利用者 R	露地野菜	0.15 ha	ha	露地野菜	0.15 ha	ha	224	
19	利用者 S	水稲	1.98 ha	ha	水稲	1.98 ha	ha	225	
20	利用者 T	水稲	1.23 ha	ha	水稲	1.23 ha	ha	226	
21	利用者 U	水稲	0.51 ha	ha	水稲	0.51 ha	ha	227	
22	利用者 V	水稲	2.54 ha	ha	水稲	2.54 ha	ha	228	
23	利用者 W	水稲	0.10 ha	ha	水稲	0.10 ha	ha	229	
24	利用者 X	水稲+施設野菜	1.02 ha	ha	水稲+施設野菜	1.02 ha	ha	230	
25	利用者 Y	水稲	0.75 ha	ha	水稲	0.75 ha	ha	231	
26	利用者 Z	水稲+露地野菜	1.26 ha	ha	水稲+露地野菜	1.26 ha	ha	232	
27	利用者 AA	水稲	0.15 ha	ha	水稲	0.15 ha	ha	233	
28	利用者 AB	水稲	1.81 ha	ha	水稲	1.81 ha	ha	234	
29	利用者 AC	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	235	
30	利用者 AD	水稲	1.03 ha	ha	水稲	1.03 ha	ha	236	
31	利用者 AE	水稲	0.99 ha	ha	水稲	0.99 ha	ha	237	
32	利用者 AF	水稲	1.00 ha	ha	水稲	1.00 ha	ha	238	
33	利用者 AG	水稲+露地野菜	0.06 ha	ha	水稲+露地野菜	0.06 ha	ha	239	
34	利用者 AH	水稲	1.60 ha	ha	水稲	1.60 ha	ha	241	
35	利用者 AI	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	242	
36	利用者 AJ	水稲	1.11 ha	ha	水稲	1.11 ha	ha	243	
37	利用者 AK	水稲	0.59 ha	ha	水稲	0.59 ha	ha	244	
38	利用者 AL	水稲	0.24 ha	ha	水稲	0.24 ha	ha	245	
39	利用者 AM	水稲	0.14 ha	ha	水稲	0.14 ha	ha	246	
40	利用者 AN	水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.37 ha	ha	247	
41	利用者 AO	施設野菜	0.53 ha	ha	施設野菜	0.53 ha	ha	248	
42	利用者 AP	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	249	
43	利用者 AQ	水稲	1.37 ha	ha	水稲	1.37 ha	ha	254	
44	利用者 AR	水稲+露地野菜	2.31 ha	ha	水稲+露地野菜	2.31 ha	ha	256	
45	利用者 AS	水稲	1.01 ha	ha	水稲	1.01 ha	ha	296	
46	利用者 AT	水稲	0.79 ha	ha	水稲	0.79 ha	ha	297	
47	利用者 AU	水稲	0.58 ha	ha	水稲	0.58 ha	ha	302	
48	利用者 AV	水稲	0.83 ha	ha	水稲	0.83 ha	ha	303	
49	利用者 AW	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	305	
50	利用者 AX	水稲+露地野菜	0.89 ha	ha	水稲+露地野菜	0.89 ha	ha	306	
51	認農 AY	水稲+施設野菜	7.51 ha	ha	水稲+施設野菜	7.95 ha	ha	800	
52			ha	ha		ha	ha		
53			ha	ha		ha	ha		
54			ha	ha		ha	ha		
55			ha	ha		ha	ha		
56			ha	ha		ha	ha		
57			ha	ha		ha	ha		
58			ha	ha		ha	ha		
59			ha	ha		ha	ha		
60			ha	ha		ha	ha		